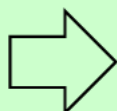


畑地かんがい用水を活用してフレッシュで栄養満点な野菜を提供
～有限会社 太陽ファーム～（法人番号1350002015885）

経営体の概要

設立年度：平成16年
基幹作物：かんしょ、たまねぎ等
作付面積：0.5ha
労働力：20名（農場3名）



現在：平成29年
基幹作物：しょうが、キャベツ等
作付面積：21.2ha（ハウス1.2ha）
労働力：70名（農場17名）

取組の経緯と経営転換のポイント等

平成9年に運輸事業を主とする会社の野菜の栽培・加工を行う関連会社として創業。その後、平成16年に本業から分離独立し、有限会社太陽ファームとして営業を開始している。

加工・業務用野菜の栽培が中心であり、経営耕地の一部に畑地かんがい施設が整備された畑（約4ha）が含まれており、そのうち森田原地区（モデルほ場として平成3年度事業着手し、平成12年度に事業完了。）では、現在、国営事業で整備された畑地かんがい用水を活用（増収・計画生産）して、しょうがやキャベツの栽培を行っている。

営農改善のポイント

①作物の変化

経営耕地の一部では、畑地かんがい用水が平成12年度に通水しており、その用水を活用することで、キャベツの栽培面積が当初の0.5haから平成29年の10haまで規模拡大している。



しょうがの散水状況

②単収・品質の向上

自動かん水装置を組み込んだ散水器具を利用して栽培を行うことで適時かん水が可能となり、しょうがの場合、格段に収量が増加（約50%増）している。キャベツは、年に数品種を試験的に栽培しており、自社農場に適した品種の選定も行っている。



キャベツの散水状況

③流通・販売の工夫

野菜貯蔵庫を整備することで、いつでも顧客の注文に合わせてカット野菜を製造し、発送出来る体制を構築している。また、運輸事業を主とする関連会社では、低温輸送により品質管理も徹底した上で、効率的に全国へ配送している。更に、加工処理では、安全・安心なカット野菜として、自社の流通コストを抑え、ゴミ処理コストが抑えられるなど、顧客にも手間をかけない状態で出荷している。



自動かん水装置

事業概要

事業種：畑地帯水源整備事業
関係市町：都城市、三股町
受益面積：3,966ha
事業期間：昭和62年度～平成22年度
事業目的：畑地かんがい
主要工事：ダム1カ所、頭首工1カ所、導水路9.6km
ファームポンド18カ所、揚水機場7カ所
加圧機場3カ所、用水路137.1km

位置図（宮崎県）



<問い合わせ先>

九州農政局
農村振興部農地整備課
電話：096-211-9111
（内線：4773）

（平成30年度調査時点）